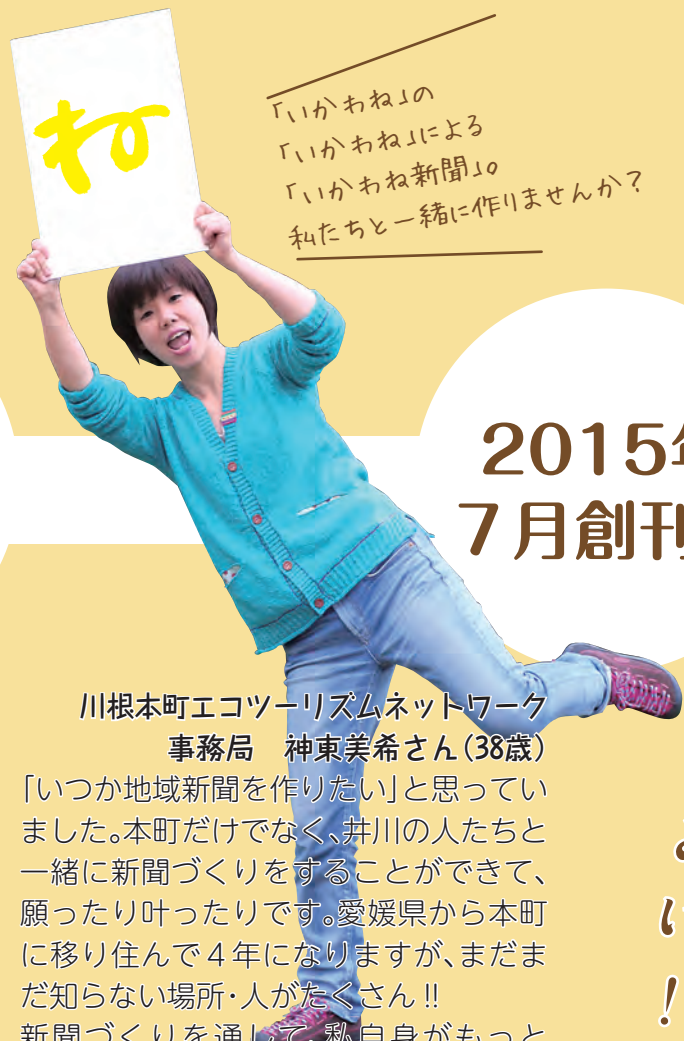




アルプスの里の
天ぷらと
とうもろこしプリン(夏だけ)
おいしいよ!

「いかわね 新聞」

静岡市・井川支所 遠藤恵弓さん(26歳)
滋賀県出身で、3年前に旦那さんと井川
へ移住してきました。いかわね新聞の発
行にワクワクしています。絵を書くこと
が好きで、いかわね新聞のイラストは私
が担当します。私がお気に入りの井川の
ベストショットは、秋の朝7時頃に笹山
にかかる朝焼け。紅葉が黄金色に輝いて
見えます。今後、いかわね新聞でも紹介し
たいと思います。隠された魅力を再認識
できるような内容を目指していきます。



「いかわね」の
「いかわね」による
「いかわね新聞」の
私たちと一緒に作りませんか?

2015年
7月創刊!

お
楽
し
み
に
!

川根本町エコツーリズムネットワーク
事務局 神東美希さん(38歳)

「いつか地域新聞を作りたい」と思ってい
ました。本町だけでなく、井川の人たちと
一緒に新聞づくりをすることができて、
願ったり叶ったりです。愛媛県から本町
に移り住んで4年になりますが、まだま
だ知らない場所・人がたくさん!!
新聞づくりを通して、私自身がもっと
もっと井川・川根地域のことを知って、そ
の魅力を皆さんにお伝えします。

MINAMI-ALPS BIOSPHERE RESERVE

「いかわ」と「かわね」の魅力を情報発信

南アルプスユネスコエコパーク登録から1年。
この7月に、14の官民が連携して構成する
「南アルプスエコパーク静岡地域連携協議会」が
エコパーク登録エリアの魅力を発信するため、
「いかわ」と「かわね」をつなぐ、
「いかわね新聞」を発行します。
創刊号は7月に各戸に配布されます。

昨年の6月、川根本町を含む3県10市
町村で申請した南アルプスが「ユネスコ
エコパーク」に登録されました。そして、
登録から1年がたち、このたび静岡県内
で登録エリアとなる静岡市井川地区と川
根本町をつなぎ、登録エリアの魅力を情
報発信する新聞が発行されることになり
ました。その新聞の名は「いかわね新聞」。
その名のとおり、「いかわ」と「かわね」
をミックスさせ、親しみを込めて名付け
られました。発行を手掛けるのは14の官
民が連携の「南アルプスエコパーク静岡
地域連携協議会」(構成団体は左ページ
下段参照)。数回の編集会議を経て、でき
るだけ手にとって読んでもらえるように
堅苦しくない「ゆるめ」な設定で作られ
ました。



2



ここにも、一つの物語。
広報かわねほんちよう



ハルさんをはじめ、
井川の皆さんの
人柄が好き！
遊びにきてください！

「いかわ」と 「かわね」を

静岡市環境創造課・井川地域特派員
三木友美子さん(31歳)
藤枝市出身です。静岡市環境学習指導員
として井川少年自然の家などで活動中
(育成講座を卒業)。現在は地域特派員として、
エコパークの啓発活動が主な仕事です。井川の皆さんの印象は、人柄がとても
良く、あったかいなあと思います。私の好き
な井川の風景はハルさんの家から見る
山々と小河内川。絶景ではないけれど癒
されます。そんな魅力をお伝えします！



つなぐ 新聞

井川と言えば山伏！
ヤナザランが絶景の
360度見渡せるリバウエル
もオススメだよ！

南アルプス井川エコツーリズム推進協議会
会長 鈴木幸一さん(68歳)



南アルプスユネスコエコパーク登録1年

親しみがあり、読みやすいように工夫

5月26日、文化会館会議室で「いかわね
新聞プロジェクト」第2回編集部会が開
かれました。集まった15人の皆さんは、発
行部数や制作費の確認、創刊号に向け細
部にわたる打ち合わせをしていました。
この日は新聞の命ともいえる題字の書体
を決める打ち合わせが行われ、参加者の
多数決により方向性が決められました。
「新聞調だと堅い気がする」「雑誌風にゆ
るい感じでいいのでは」「など活発な話し
合いがされ、「ゆるめな手書き」が採用さ
れました。また、歴史ある新聞さながらに
題字の背景には手書きの南アルプスの
山々や草木花、カモシカがあしらわれて
います。

いまでも、これからも、ずっと

私たちに豊かな恵みをもたらしてくれ
ている「南アルプス」。共に「世界に認めら
れた共生文化が息づくまち」であること
の誇りを持ち、奥大井の素晴らしい自然
環境と多様な文化を融合させながら、豊
かな地域づくりを進める同士です。

「いかわね新聞」は今まで以上にお互いの
地域を知り、連携して内外に魅力を情
報発信していくことをコンセプトにして
います。発行は年3回、各1万部発行を予
定していて、川根本町内は各戸配布され
ます。創刊号は7月に発行されますので、
ぜひ楽しみにしてください。

1. 熱心な話し合いが行われた編集会議
2. 複数の題字の書体が用意され、コンセプトに合った書体を協議した
3. 事務局の静岡市環境創造課・伊熊良至さんが会をまとめる
4. 案を基に細部にわたり話し合われた



「南アルプスエコパーク静岡
地域連携協議会」構成団体
の紹介：静岡森林管理署、天
竜森林管理署、静岡県静岡
市、川根本町、株式会社特種東
海フォレスト、中部電力株式
会社静岡支店、しずてつジャ
ストライン株式会社、川根本
町森林レクリエーション推進
協議会、自然公園指導員、井川
観光協会、川根本町まちづく
り観光協会、南アルプス井川
エコツーリズム推進協議会、
川根本町エコツーリズムネッ
トワーク14団体